災害科学国際研究所 IRIDeS International Research Institute of Disaster Science

災害研職員を対象としたAED使用講習会（第5回）を開催しました（2018/5/24）

テーマ：質の高い胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）、119番通報
場所：東北大学災害科学国際研究所棟（宮城県仙台市）

2018年5月24日(木)、東北大学災害科学国際研究所棟において当研究所職員を対象としたAED使用講習会（第5回）が、災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野 佐々木宏之助教の企画で開催されました。東北大学総合地域医療研修センターの今井浩之先生（救急救命士）に講師をお願いし、同センタースタッフと佐々木助教が講習のサポートを行いました。

今回初の試みとして、アメリカ心臓協会(AHA)のFamily & Friends CPRを実施しNPO法人日本ACLS協会より修了証が発行されるように手続きしました。DVD視聴後、実技を行う、の繰り返しで①胸骨圧迫について、②AED使用について、③119番通報、について学習しました。傷病者役のシミュレーターには胸骨圧迫の過不足を測定するモニターが装着されており、受講者は自分の胸骨圧迫が十分か否かをモニターで確認することができます。最後に、④傷病者の発見から接触・意識の確認・応援要請・AED、119番通報の依頼・呼吸確認・胸骨圧迫・AED使用を一連で実習し、約2時間の講習を終了しました。終了後、「乳幼児・子供への胸骨圧迫はどうするのか」「雨天でのAED使用をどうするのか」「善意での行為が良い結果につながらない場合はどうするのか」など、活発な質疑応答が続きました。受講者は胸骨圧迫の大変さを、身をもって体験し、意識を失った人を助けるには迅速な対応と多くの人手が必要なことを学びました。

◎今回の受講者：橋本雅和助教（災害ポテンシャル）、豊田和可子さん（広域被害把握）、池田菜穂さん（災害文化）、小野寺麻里子さん・小林さやかさん（国際防災戦略）、千田蓉さん・川崎弘嗣さん・藤原莉沙さん（災害医療国際協力）、森實香純さん（災害アーカイブ）、八木美夏さん・菊地由里子さん（社会連携オフィス）、中鉢奈津子助教（広報室）、赤坂絵津子さん（総務係）、菅原千織さん（経理係）、松井梨奈さん（用度係）

講師の今井浩之救急救命士

DVD視聴による座学

胸骨圧迫深さ5cm
結構きつい

胸骨圧迫とAED装着を 協力して行う様子

講師陣、受講者全員で

文責：佐々木宏之（災害医学研究部門）